



再建した自宅でくつろぐ三條さん

石巻市・主婦三條すみゑさん(62)

三男の泰寛さん(当時17)を亡くす

石巻市の二子団地に自宅を再建した。仏壇の近くに泰寛のバレーボールシューズを保管している。震災前まで家族で暮らしていた市内の長面地区で、泰寛の兄たちが捜索中に見つけた。

3人の息子の中で一緒に過ごした時間が一番長いのは泰寛。泰寛が大川中と石巻商高でバレーボールに励

少しでも長く
生きてやろう。

んでいた当時は、練習や試合に合わせてパートのシフトを組み、ほぼ1年中、車で送り迎えしていた。

安住の地を持ち、ある程度落ち着いた半面、震災当時を思い出すようになっていく。特に夜、ポツンと1人である時。ちょっとしたことで涙が出る。いろいろな方々に助けられている。パート仲間は新築祝いに集まり、仏壇に手を合わせてくれた。

「大川伝承の会」の語り部活動で知り合った方々も支えになっている。

初めて語り部をした際、大川小へ向かう車内でなぜか涙が出た。でも、着いたら止まった。泰寛が背中を押してくれたのかもしれない。いろいろなことを経験し、泰寛の分まで少しでも長く生きてやろうと思う。